

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 16 日(2023.5.16)

【公開番号】特開 2022-173500(P2022-173500A)
【公開日】令和 4 年 11 月 18 日(2022.11.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-213
【出願番号】特願 2022-159045(P2022-159045)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 8 日(2023.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の基板が搭載された遊技機であって、

複数の基板として、

実装された部品を特定可能な表示部が設けられている主制御基板と、

実装された部品を特定可能な表示部と基板を特定する基板管理番号とが設けられてない磁気検出基板と、を有し、

前記磁気検出基板は、磁気を検知可能な磁気検出手段が実装されて所定の収容部材に収容され、

30

前記収容部材は、前記磁気検出基板が収容された収容部材であることを特定可能な製品管理番号が記された製品管理表示部を有する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

40

従来、シルク印刷で部品番号等が示される基板を備える遊技機が提案されている(例えば、特許文献 1)。基板は、所定色のレジスト液が塗布されることで高反射率とする装飾性を高めるものもある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 0 6 - 1 4 1 6 8 3 号公報(段落[0 0 4 7]、段落[0 0 4 8]

50

〕、及び図３）

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、シルク印刷より、基板の回路の構成が推察されて基板の回路が不正に改変されるという不正行為が行われるおそれがあった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、不正対策を講じることができる遊技機を提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、

複数の基板が搭載された遊技機であって、

複数の基板として、

実装された部品を特定可能な表示部が設けられている主制御基板と、

実装された部品を特定可能な表示部と基板を特定する基板管理番号とが設けられてない磁気検出基板と、を有し、

前記磁気検出基板は、磁気を検知可能な磁気検出手段が実装されて所定の収容部材に収容され、

前記収容部材は、前記磁気検出基板が収容された収容部材であることを特定可能な製品管理番号が記された製品管理表示部を有する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明の遊技機においては、不正対策を講じることができる。

10

20

30

40

50